

授業科目名	保育実践演習			科目コード	K1704P04
英文名	TraininginPracticeChildcare				
科目区分	富山の子ども育成				
職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	4年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	保育士資格に関する必修科目及び選択必修科目の履修状況や、実習を通しての自らの学びを振り返り、保育士として必要な知識や技術、教養や判断力、倫理観等を習得したことを、ディスカッションや実技、ロールプレイなどを通して確認する。また、現場の課題を踏まえ、自己課題を明確にし、保育実践の基礎的な力を付ける。				
キーワード	保育実践	履修状況の確認	学びの振り返り	知識・技能の習得	
到達目標	Google保育実践演習振り返りシートで、これまでの学びを振り返り、習得した力や自己課題を明確にすることができる。(10%)				
	様々な保育技術（手遊び、製作、おたより作成）や事例検討、専門用語の確認を通して、保育実践の基礎的な力を確認することができる。(40%)				
	実習エピソードの事例検討もしくは保育に関する現代的課題に関する討論を通して、保育士として必要な知識や技術、判断力、倫理観等を確認することができる。(50%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○		○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	これまでの学修の振り返り及びオリエンテーション：Google保育士養成課程振り返りシートに記入〔A・B合同 石倉・本江・竹田〕 （石倉：幼稚園・特別支援学校の実務経験あり、本江：保育所・幼稚園の実務経験あり、竹田：幼稚園の実務経験あり） 〔ABグループ一覧表・振り返りシート科目の到達目標確認〕	
	【予習】学生便覧の保育士養成課程別表に目を通してくる。成績表を準備しておく。 ABグループ一覧表を見ておく。PCorスマホを充電しておく（AB合同の時は毎回）。	90分
	【復習】当日中に、2018年度入学生用のwebシラバス上で「鉛筆を持った人マーク」をクリックし、今日の授業についてのアンケートフォームに記入し、回答送信ボタンを押す（毎回）。 授業内容をマイノートにまとめる。	90分
第2回	前回記入したGoogle 保育士養成課程振り返りシートの結果について振り返り、グループ別に共有・課題討論 〔A・B合同 石倉・本江・竹田〕 〔振り返りシート結果共有データ確認〕	
	【予習】記入したGoogle保育士養成課程振り返りシートを振り返る。	90分
	【復習】[やりたい自分になるスパート計画』に入力し、第3回目の授業が始まるまでに、この欄の「課題提出」にアップロードして提出すること。	90分
第3回	Aグループ（石倉）保育環境についての学びの確認 （基本の考え方） Bグループ（竹田）保育内容等の指導力についての確認	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】A・Bグループ共通：授業内容をノートにまとめる。	90分
第4回	Aグループ（石倉）保育環境についての学びの確認 （課題製作） Bグループ（竹田）児童理解等についての事例検討	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。 Aグループ（石倉）課題製作は、空き容器などの廃材を使用した動くおもちゃ作りです。90分以内に製作できるよう、作り方ガイドや材料を準備してきてください。	90分
	【復習】Aグループ（石倉）本日中に課題製作を終え、指導案に画像を貼り付け、第4回予習欄3へ3ページに収めて提出 （次回の授業で、課題全体についてコメントする。） Bグループ（竹田）：授業内容をノートにまとめる。	90分
第5回	Aグループ（石倉）保育内容の指導力についての確認（事例Q1～Q5をもとに） Bグループ（竹田）児童に対する責任等についてのグループ討議 第4回の授業の振り返りは、後日添付します。添付したらメールを送ります。	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】Aグループ（石倉）第5回予習欄3へ1ページ設定で提出(事例対応) （課題全体について、メールでコメントする。） Bグループ（竹田）：授業内容をノートにまとめる。	90分
第6回	Aグループ（本江）保育士の仕事・保育の基本についての確認 Bグループ（石倉）保育環境についての学びの確認 （基本の考え方） Bグループは今日の出席フォームに入力すること。	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該当部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく	90分
	【復習】A・Bグループ共通：授業内容をノートにまとめる。	90分

第7回	Aグループ 本江 子育て支援についての確認（グループ討議） Bグループ 石倉 保育環境についての学びの確認（課題製作） Bグループは今日の出席フォームに入力すること。	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】Aグループ（本江）授業内容をノートにまとめる。課題に取り組む。 (課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を紹介する。) Bグループ（石倉）本日中に課題製作を終え、指導案に画像を貼り付け、第8回予習欄3へ3ページ以内に収めて提出 （次回の授業で、課題全体についてコメントする。）	90分
第8回	Aグループ 本江 子育て支援について（発表） Bグループ 石倉 保育内容の指導力についての確認（事例Q1～Q5をもとに） Bグループは今日の出席フォームに入力すること。	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】Aグループ（本江）3回の授業を振り返り、内容をノートにまとめる。課題に取り組む。 Bグループ（石倉）第9回までに第9回予習欄3へ提出(事例対応) （課題全体について、メールでコメントする。）	90分
第9回	Aグループ（竹田）保育内容等の指導力についての確認 Bグループ（本江）保育士の仕事・保育の基本についての確認	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】A・Bグループ共通：授業内容をノートにまとめる。	90分
第10回	Aグループ（竹田） 児童理解等についての事例検討 第10回授業資料（竹田） Bグループ（本江） 子育て支援についての確認（グループ討議）	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】Aグループ（竹田）：授業内容をノートにまとめる。 Bグループ（本江）授業内容をノートにまとめる。課題に取り組む。 (課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を紹介する。)	90分
第11回	Aグループ（竹田）児童に対する責任等についてのグループ討議 Bグループ（本江）子育て支援について（発表）	
	【予習】A・Bグループ共通：授業該部分の保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説に目を通しておく。	90分
	【復習】Aグループ（竹田）：授業内容をノートにまとめる。 Bグループ（本江）3回の授業を振り返り、内容をノートにまとめる。課題に取り組む。	90分
第12回	資質能力の確認：実習エピソードもしくは現代的課題に関するニュースについて共有する。 9グループ（1グループ5.6名）に分かれて一人一人シートを共有し、感想を発表する。 シート、記入例参照 実習エピソード課題の場合： 現代的課題解決の場合： 担当：本江、 担当：竹田、 担当：石倉	
	【予習】以下、どちらの課題になるかは、第11回の授業で発表する。 実習エピソード課題の場合：実習場面で実際にあった話し合いたいエピソードをシートに記入 現代的課題の場合：最近3年間のものとし、課題が重ならないよう便宜上内容を分ける。	90分
	【復習】シートは授業終了後、この欄の に提出すること。実習エピソード課題の場合：次回のための準備物等用意しておくこと。現代的課題に関するニュースの場合：本日共有したニュースから各グループで話し合いたいものを1つ選び、どのような解決策があるか、様々な情報を調べ、考えておく。	90分
第13回	資質能力の確認：実習エピソードもしくは現代的課題解決に向けての検討 実習エピソード課題の場合：今回の授業でロールプレイができるよう準備・練習する。 現代的課題解決の場合：各グループで出された課題解決策について討論する →第15回の授業で発表 9グループ各6分程度	
	【予習】解決策を討論できるよう、情報を集めておく。	90分
	【復習】課題の討論や助言などで学んだことをまとめておく。現代的課題の場合：次回PPを作成できるよう、役割分担を考えておく。	90分

第14回	資質能力の確認： 実習エピソードの場合：各グループがロールプレイを発表し、討論する。 現代課題の場合：課題解決に向けて検討した内容をPPにまとめる。 →第15回の授業で発表 9グループ各6分程度 担当：本江、 担当：竹田、 担当：石倉	
	【予習】どのような発表形態にするか考えておく。	90分
	【復習】実習エピソードの場合：各教員の担当する3グループから、全体で話したいエピソードを1つ選ぶ（教員）。 現代課題の場合：次回発表するPPについて、最終点検しておく。	90分
第15回	資質能力の確認：実習エピソードもしくは現代課題の解決策に関する発表 実習エピソードの場合：3グループ×6分＝18分、質疑応答各15分＝45分、教員の助言3名15分 現代課題の場合：9グループ×6分＝54分、質疑応答20分、教員の助言3名：10分	
	【予習】発表の練習をし、当日スムーズに発表できるよう準備しておく。 現代課題の場合：録画したものを流す場合は、音量を適正に調整すること。	90分
	【復習】各グループの発表で学んだことを本日中にGoogleフォームに記入して提出すること。 現代課題の場合：作成したPPIはグループ代表者がPDF化し、授業の最後に、この欄の に提出すること。難しければメール添付でishikura@tuins.ac.jpまで。	90分
第16回	定期試験は行わない	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ～ について、受講態度等60%（石倉・本江・竹田それぞれ20%で合算）、保育実践演習振り返りシートGoogleフォーム・「なりたい自分になるスパート計画」提出10%、課題解決感想30%（石倉、本江、竹田）で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：20%、社会性：20%、専門性60%）		
使用資料 <テキスト>	厚生労働省 平成30年『保育所保育指針解説』（フレーベル館）、文部科学省 平成3	使用資料 <参考図書>	学生便覧 2,3年次の実習ファイル（保育所・施設・幼
授業外学修等	各回の事前準備を適宜行うこと。		
授業外質問方法	オフィスアワー等にメールで質問して下さい。（ishikura@tuins.ac.jp,ri4hongo@tuins.ac.jp,takeda@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	本江... 木曜日2限（E-402本江研究室）、竹田... 月曜日 4限（E-301竹田研究室）、石倉...水曜日5限（E-403石倉研究室）		